

# 全日本学生バドミントンミックスダブルス選手権大会 組み合わせ基準

2019年2月24日

全日本学生バドミントン連盟

全日本学生バドミントンミックスダブルス選手権大会は、現行の公益財団法人日本バドミントン協会大会運営規程第5章第28条～32条を適用し、シードは原則として次の通りとする。

1. 次の①～⑨により、1～16までシードする。ただし、準決勝・準々決勝が昨年度と同じ対戦は避けるものとする。
  - ①前年度本大会のランキング2位以内をランキングによりシードする。
  - ②前年度本大会のランキング4位以内を抽選によりシードする。
  - ③前年度本大会のランキング8位以内を抽選によりシードする。
  - ④前年度全日本学生バドミントン選手権大会男女ダブルス8位以内を男女の合計ポイントの高い順にシードする。
  - ⑤前年度全日本学生バドミントン選手権大会男女シングルス8位以内を男女の合計ポイントの高い順にシードする。
  - ⑥全日本学連推薦者を抽選によりシードする。(新生：インターハイ単複ベスト8以内を考慮)
  - ⑦直近の日本ランキング32位以内をランキングによりシードする。
  - ⑧前年度全日本学生バドミントン選手権大会男女ダブルス32位以内を男女の合計ポイントの高い順にシードする。
  - ⑨前年度全日本学生バドミントン選手権大会男女シングルス32位以内を男女の合計ポイントの高い順にシードする。
2. 各地区から推薦により出場している組のうち、各地区の参加組数の比率を基に、下位から「関東3組・関西3組・中部・北海道・東北・中四国・九州各2組の計16組」を選出し、第1から第8のシード下に入れる。シード下の位置は抽選により決める。シード下の極端な不都合は、抽選組間で入れ替える。

※有資格者	前年度全日本インカレ男・女ダブルスベスト32以内 前年度全日本インカレ男・女シングルスベスト32以内 前年度本大会ベスト8位内 全日本学連推薦者；若干組(新生等：I. H. 単複ベスト8以内)
推薦者	東日本16組(北海道4組・東北4組・関東8組) 西日本18組(中部4組・関西6組・中四国4組・九州4組)

### 3. 以降自動抽選

4. 日本バドミントン協会の要請で各種大会に派遣される場合及びその他の特別な理由により、該当選手が上記シード基準①～⑨に適応されない場合は、そのシードについて考慮する場合がある。

★ポイント計算：全日本インカレ 1位-32点、2位-31点、3位-30点・・・32位-1点  
推薦者                      ポイントなし

★各地区学連から推薦された選手が、有資格者とペアを組んだ場合は、その人数を繰り上げし、各地区学連推薦枠はそのままの枠数とする。

★1回戦は、昨年度と同一対戦は避ける。

★4ブロック内での地区バランスを考慮する。

★関東と関西の地区バランスは、極端な偏りを除き原則として考慮しない。

以上

### 【組み合わせ会議の効率化】

※大会の主管学連は、組み合わせ会議当日までに組み合わせ**原案「3案：16シード」**を準備し、会議当日はその3案から「抽選」で最終案を選出し、その最終案を基に自動抽選後の★印等を調整して組み合わせを確定する。

※抽選はコンピュータでランダム関数を使用してもカードやダイス等を使用しても数学的確率は同等である。

➡原案作成方法（ランダム関数 or カード）は主管学連の判断による。

※主催学連である全日本学連は、レフェリー等サイン入りの原本をコピーした副本を各地区学連に配布する。